

『越境スタディーズ』出版記念講演会

「越境（国際化）プロジェクト」と国際社会コミュニケーション学科の研究・教育の実践
——丸井一郎先生の研究・教育の20年を振り返りながら——

高知大学人文学部（人文社会科学部門）キーワード型研究プロジェクト『『持続可能性』の諸相と地域・交流——高知へ・高知から』では、高知という地域の様々な側面について、「越境」をキーワードとしながら研究・教育に取り組んできました。この度、その最新の研究成果をまとめ、『越境スタディーズ——人文学・社会科学の視点から』（岩佐和幸・岩佐光広・森直人（編）、リーブル出版、2015年3月）として刊行いたしました。これは、国際社会コミュニケーション学科が中心となって取り組んできた研究プロジェクトの3冊目の研究成果となります。

このプロジェクトの歩みは、2014年度末をもってご退職された丸井一郎先生の研究・教育の実践と切り離せないものでした。言語とコミュニケーションの研究を基軸としつつ、様々な文化事象とそれを捉えるための理論的な枠組み、さらに社会科学の諸分野に至るまで、分野横断的な専門的学識とエネルギー意欲——丸井先生の研究・教育活動は、本プロジェクトの大きな原動力となってきました。

そこで、本プロジェクトでは、『越境スタディーズ』出版記念企画として、丸井一郎先生を講師にお招きし、下記の要領にて、本研究プロジェクトの歩み、そして丸井先生の高知大学での研究・教育の20年を振り返っていただくことを計画しています。丸井先生を知る教員・職員の皆様、丸井先生の教えを受けた学生の皆様、どうかふるってご参加いただければと存じます。

記

主催： 『『持続可能性』の諸相と地域・交流——高知へ・高知から』研究プロジェクト

日時： 2015年4月22日（水）14：50—17：00

会場： 人文4番教室（人文学部棟2階）

プログラム

14：50-15：00 趣旨説明、講師紹介（森直人）

15：00-16：30 丸井一郎先生 講演「境界の諸相」

以上